

ネコレスキュー公式：自力搜索・完全攻略バイブル

【前編】

運命の0時間～24時間： 初動・環境構築編

見つけるより先に「戻れる場所」を作る

搜索は「今」始まりました。

愛猫がいなくなり、じっとしてはいられず眠れない日々ですよ。

そして、

「すぐに外へ飛び出して名前を呼びたい」

「走り回って探したい」

そのお気持ち…とても分かります。

ですが、まずは深呼吸を一つしてください。

私たちプロの現場では、「最初の24時間」の動きで、その後の運命が決まると言われています。

この時間は、闇雲に走り回るための時間ではありません。

猫ちゃんが自ら「帰りたい」「帰れる」と思える【最強の環境】を整えるための時間です。

この『前編』には、機材がなくても今すぐご自宅でできる「初動のすべて」を記しました。

警察への連絡から、NG行動の回避、そして「家の環境構築」まで。

まずはこの通りに動いてみてください。あなたの冷静な行動だけが、愛猫を家に導きます。

⚠️ 【最初に1回だけ】家の中の最終確認（5分）

押入れ／クローゼット／ベッド下／洗濯機裏／家具の隙間／浴室・天井裏・換気口
周り

懐中電灯で隙間を照らして「目視」だけで確認してください。

※"家の中の可能性"を完全に消してから外へ出ましょう。

第1章：初動の「緊急ToDoリスト」

※まだの方は、直ちに連絡を済ませてください

1. 警察署・交番（必須）

ペットは法律上「落とし物」扱いになります。最寄りの警察署の「会計課（落とし物係）」に電話し、遺失物届を出してください。

2. 保健所・動物愛護センター

保護された猫が収容されている可能性があります。お住まいの地域の保健所とセンターの両方に連絡を入れてください。

2.5 マイクロチップ（装着している場合）

登録情報（電話番号・住所）が最新になっているか、登録サイト（AIPO等）ですぐに確認してください。

※引越しや携帯番号の変更忘れにより、保護連絡が届かないケースがあります。

3. 清掃事務所（道路管理課）

辛い確認ですが、万が一の交通事故の可能性も否定できません。念のため地域の清掃事務所にも問い合わせてください。

4. 近隣の動物病院【★重要】

怪我をして運び込まれている可能性があります。

💡 プロの知恵

電話だけでなく、必ず「迷子チラシ」を持って挨拶に行きましょう。動物病院は協力的で、院内にチラシを貼ってくれることがほとんどです。そこに来る「猫好きの患者さん」が強力な目撃者になります。

第2章：やってはいけない「NG行動」

※良かれと思ってやったことが、猫を遠ざけます

✗ 1. 名前を大声で叫びながら探す

脱走した猫はパニック状態で、飼い主の声さえ「恐怖」に感じる場合があります。大声は厳禁です。

※小声なら状況次第でOKです。

✗ 2. むやみに追いかける

姿を見つけても、絶対に走って追いかけないでください。驚いた猫がエリア外へ逃走し、帰ってこられなくなります。「見つけても捕まえない」のが鉄則です。

✗ 3. 使用済みの猫砂を「撒く」

家の周りに砂を撒き散らすのはNGです。匂いに釣られて、気の強い野良猫（外敵）が寄ってきてしまい、ビビリな愛猫が怖がって家に近づけなくなります。

※「状況次第で」ネットに入れて、玄関先やベランダに「置く」のはOKです。

※「人工的な香り（香水・洗剤）」は厳禁ですが、猫が好む「食べ物の匂い」は有効です。この2つは区別して考えてください。

第3章：匂いの誘導作戦「匂いの灯台」を作る

猫は視覚よりも「嗅覚」で家を探します。飼い主様の匂いは強力な道しるべになります。

ミッション1：安らぎの匂いを設置する

- 洗濯前の靴下・パジャマなど「飼い主様の生活臭」がついたもの
- 猫ちゃんが愛用していたタオルや毛布（可能なら）

設置場所は、玄関先/ベランダ/庭の室外機の上など、雨で濡れにくく安全な場所を選びます。

ミッション2：換気扇を「弱」で回す

キッチンの換気扇を「弱」で回し、窓を数ミリだけ開けて（脱走防止ロック必須）、家の中の生活臭を外へ流します。

※風向きや環境により効果は変わります。火の元・防犯・脱走防止を最優先にしてください。

第4章：聴覚のコントロール「静寂」を作る

脱走した猫は聴覚が過敏になっています。普段は平気な音が、今は脅威になることがあります。

ミッション3：家の中を「図書館」のように静かにする

- テレビの音量は最小限に
- 家族間の会話も小声で
- 玄関や窓の開け閉めはゆっくり、音を立てずに

第5章：ご飯場所の確定「ここに来れば食べられる」を作る

捕獲器がない間、猫に「ここはご飯が食べられる場所だ」と学習させます。

■ 重要ミッション：猫を家に引き寄せる「匂いの道」作り

捕獲器がない間、猫ちゃんを遠くへ行かせず、自宅敷地内に留めるための「撒き餌（まきえ）」を行います。

以下の手順通りに、「人の動き」に注意して実行してください。

【用意するもの】

- いつものドライフード
- 量は「親指の爪サイズ（一口分）」を数箇所分（お腹いっぱいにならないように少量にしてください）

【手順：ここがプロのコツ！】

① 「ゴール」を決める

最終的に入ってほしい場所（玄関、勝手口、または捕獲器を置く予定の場所）をゴールにします。

② 「外（遠く）」から「内（ゴール）」へ向かって置く

ここが最重要です。

必ず、家から遠い場所（猫が潜んでいそうな場所）からスタートし、家に戻りながら置いてください。

理由：家から外に向かって歩くと、猫は「人が自分を追いかけてくる（攻撃）」と感じて逃げる可能性が高まります。

逆に、外から家に戻りながら置くと、「人がご飯を置いて立ち去った（安心）」と感じやすく、その背中（匂い）を追って家の方へ顔が向きます。

③ 間隔は1.5m～2mおきに点々と置く

猫が「次のご飯はどこだ？」と探しながら、自然と家に近づくように誘導します。

④ 翌朝、チェックする

翌朝、どこのご飯がなくなっているか確認してください。

※注意：他の動物や他猫が集まってしまう場合は、すぐに中止してください（保護したい猫ちゃんが近づけなくなります）。

続きは【後編】へ

「2日目以降の長期戦：搜索・情報戦・保護（捕獲）編」

もう1冊のPDFにまとめていますので、そちらをご覧ください。

⚠ 重要：著作権・利用規約について

本マニュアルの著作権は「ネコレスキュー本店」に帰属します。

本マニュアルの内容の全部または一部を、無断で転載、複製、配布、改変すること、および購入者以外の第三者（知人・友人を含む）へ譲渡・共有することを固く禁じます。

本マニュアルは、ご購入者様ご本人が、ご自身の愛猫搜索のためにのみ使用できるものです。

違反が発覚した場合、法的措置を取らせていただく場合がございます。

ネコレスキュー本店